

## 2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2024年11月8日

上場会社名 株式会社 大田花き  
コード番号 7555 URL <https://otakaki.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表執行役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役管理本部長  
半期報告書提出予定日 2024年11月8日  
配当支払開始予定日  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 03-3799-5571

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年4月1日~2024年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	1,852	11.2	83	11.0	124	7.8	83	11.8
2024年3月期中間期	2,087	3.7	94	42.6	135	28.3	94	26.4

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 83百万円 (11.8%) 2024年3月期中間期 94百万円 (26.4%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	16.33	
2024年3月期中間期	18.52	

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	8,166	5,062	62.0
2024年3月期	9,237	5,040	54.6

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 5,062百万円 2024年3月期 5,040百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		0.00		12.00	12.00
2025年3月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,765	9.1	212	3.7	287	1.3	203	11.8	40.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	5,500,000 株	2024年3月期	5,500,000 株
2025年3月期中間期	412,326 株	2024年3月期	412,326 株
2025年3月期中間期	5,087,674 株	2024年3月期中間期	5,087,674 株

期末自己株式数

期中平均株式数(中間期)

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 中間連結貸借対照表 .....	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	4
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(会計方針の変更に関する注記) .....	7
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、好調な企業業績に支えられ脱炭素化やDX推進、省力化など企業の課題解決に向けた取り組みにより設備投資が伸び、輸出やインバウンド消費が拡大したことから緩やかな回復基調となりました。一方で物価の高騰に賃金が追いつかず実質可処分所得の低下、人手不足による労働力不足が懸念されるなど先行きは不透明な状況が続いております。

花き業界においては冠婚葬祭の多様化が進み大規模な式は減少したものの、花きの人気は高くニーズが増しました。また、猛暑の影響で日持ちの懸念から買い控えの動きが見られましたが、10代・20代の若い世代の購入が増え花のある生活様式が広がりました。

花きの生産面においては例年にない暑さが続き、集中豪雨が多発するなど厳しい条件の中で出荷時期がずれて需要と供給が合わないことが多くありました。また肥料や農薬、資材の価格が高騰しており農家の経営を圧迫していますが、消費者は物価の高騰で生活防衛意識が高く花きの販売価格に転嫁しづらい状況が続いております。

当社グループは生産者、流通業者、小売業者と協力してサプライチェーン全体のコストダウンに取り組み、花き業界の持続的な発展に努めてまいります。

このような結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高1,852,438千円(前年同期比11.2%減)、営業利益83,843千円(前年同期比11.0%減)、経常利益124,539千円(前年同期比7.8%減)、親会社株主に帰属する中間純利益83,096千円(前年同期比11.8%減)となりました。

なお、当社グループは花き卸売事業単一セグメントであるため、セグメント別の記載は行っておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における資産合計は8,166,280千円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ1,039,859千円減少し3,691,660千円、固定資産は前連結会計年度末に比べ31,198千円減少し4,474,620千円となりました。流動資産の主な内訳は、売掛金1,825,253千円、現金及び預金1,573,541千円、固定資産の主な内訳は建物及び構築物2,428,415千円です。

当中間連結会計期間末における負債合計は3,103,845千円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ972,676千円減少し1,821,144千円、固定負債は前連結会計年度末に比べ120,425千円減少し1,282,700千円となりました。流動負債の主な内訳は、受託販売未払金1,098,154千円、固定負債の主な内訳は退職給付に係る負債515,380千円、長期借入金242,994千円です。

純資産は前連結会計年度末に比べ22,043千円増加し5,062,435千円となりました。これは剰余金の配当61,052千円、親会社株主に帰属する中間純利益83,096千円の計上によるものです。

### (キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して629,872千円減少し1,672,919千円となっております。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

営業活動の結果使用した資金は、368,017千円(前年同期は666,790千円の増加)となりました。主な減少要因は、仕入債務の減少1,020,805千円、法人税等の支払額35,148千円、未払金の減少額22,943千円、主な増加要因は、売上債権の減少467,870千円、減価償却費126,763千円、税金等調整前中間純利益124,539千円によるものです。

投資活動の結果使用した資金は、37,036千円(前年同期は60,004千円の使用)となりました。減少要因は、有形固定資産の取得による支出33,916千円、無形固定資産の取得による支出19,530千円であり、増加要因は貸付金の回収による収入16,410千円によるものです。

財務活動の結果使用した資金は、224,818千円(前年同期は216,109千円の使用)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出159,148千円、配当金の支払60,820千円によるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年7月31日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,197,418	1,573,541
売掛金	2,292,989	1,825,253
商品	19,698	19,911
その他	221,414	272,953
流動資産合計	4,731,520	3,691,660
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	2,469,717	2,428,415
工具、器具及び備品 (純額)	282,215	286,888
その他 (純額)	109,824	141,650
有形固定資産合計	2,861,757	2,856,953
無形固定資産		
ソフトウェア	79,233	79,966
その他	4,265	4,265
無形固定資産合計	83,498	84,231
投資その他の資産	1,560,563	1,533,434
固定資産合計	4,505,818	4,474,620
資産合計	9,237,339	8,166,280
<b>負債の部</b>		
流動負債		
受託販売未払金	2,126,362	1,098,154
買掛金	58,111	67,390
1年内返済予定の長期借入金	289,968	289,968
未払金	79,521	86,290
未払法人税等	50,665	57,943
賞与引当金	20,000	64,560
その他	169,193	156,838
流動負債合計	2,793,821	1,821,144
固定負債		
長期借入金	402,142	242,994
退職給付に係る負債	512,027	515,380
資産除去債務	146,936	147,869
その他	342,019	376,456
固定負債合計	1,403,126	1,282,700
負債合計	4,196,947	3,103,845
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	551,500	551,500
資本剰余金	402,866	402,866
利益剰余金	4,436,564	4,458,608
自己株式	△350,539	△350,539
株主資本合計	5,040,391	5,062,435
純資産合計	5,040,391	5,062,435
負債純資産合計	9,237,339	8,166,280

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	2,087,234	1,852,438
売上原価	622,206	393,543
売上総利益	1,465,028	1,458,894
販売費及び一般管理費	1,370,821	1,375,051
営業利益	94,206	83,843
営業外収益		
受取利息	1,401	1,311
受取配当金	11,459	13,331
持分法による投資利益	18,005	12,379
その他	11,725	14,850
営業外収益合計	42,592	41,874
営業外費用		
支払利息	1,763	1,177
営業外費用合計	1,763	1,177
経常利益	135,036	124,539
税金等調整前中間純利益	135,036	124,539
法人税等	40,823	41,443
中間純利益	94,212	83,096
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益	94,212	83,096

## (中間連結包括利益計算書)

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	94,212	83,096
その他の包括利益	—	—
中間包括利益	94,212	83,096
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	94,212	83,096
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	135,036	124,539
減価償却費	130,433	126,763
賞与引当金の増減額 (△は減少)	53,319	44,560
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	22,052	3,352
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	9,486	9,486
受取利息及び受取配当金	△12,861	△14,643
支払利息	1,763	1,177
持分法による投資損益 (△は益)	△18,005	△12,379
売上債権の増減額 (△は増加)	50,979	467,870
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,219	61
仕入債務の増減額 (△は減少)	425,212	△1,020,805
未収入金の増減額 (△は増加)	3,897	69
未払費用の増減額 (△は減少)	△10,912	△67
未払金の増減額 (△は減少)	8,493	△22,943
未払又は未収消費税等の増減額	△30,002	6,321
その他	△71,130	△67,777
小計	698,981	△354,415
利息及び配当金の受取額	21,053	22,900
利息の支払額	△1,556	△1,354
補助金の受取額	23,200	—
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△74,889	△35,148
営業活動によるキャッシュ・フロー	666,790	△368,017
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△60,019	△33,916
無形固定資産の取得による支出	△14,395	△19,530
貸付金の回収による収入	14,410	16,410
投資活動によるキャッシュ・フロー	△60,004	△37,036
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△133,760	△159,148
配当金の支払額	△76,008	△60,820
リース債務の返済による支出	△6,340	△4,850
財務活動によるキャッシュ・フロー	△216,109	△224,818
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	390,676	△629,872
現金及び現金同等物の期首残高	1,763,921	2,302,792
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,154,598	1,672,919



(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、花き卸売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。